

令和3年度(2021年度)用

小学校社会科用

「新しい社会」 年間指導計画作成資料 【4年】

令和2年(2020年)2月14日版

※指導計画の表における「評価規準と評価方法」の列に、[]で示している箇所は、主として評価したことを記録に残す場面を示しています。

※単元ごとの配當時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

単元名	1. わたしたちの県 (オリエンテーション)			教科書の ページ	p.8～9
配当時数	1 時間	活動時期	4 月	学習指導要 領の内容	(1)アイ

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)オリエンテーション				
<p>・知っている都道府県を地図帳でたしかめよう。</p> <p style="text-align: right;">p.8～9</p>	1	<p>①地図帳を活用し、自分が住んでいる県の位置を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が住んでいる県の位置 <p>②地図帳や各種資料を活用し、いろいろな都道府県の名所や特産品について調べたことを発表したり、知っていることを紹介したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国が 47 都道府県で構成されていること 各都道府県の名所や特産品 	<p>◆我が国が 47 の都道府県で構成されていることをおさえるようにする。</p> <p>◆児童の体験（食べたことがある特産品や行ったことのある場所など）を想起させたり、クイズ形式を導入するなどして、興味を喚起させたい。</p>	<p>【態度】 発言内容やノートの記述内容から、「都道府県の位置、名所や特産品などに着目して、学習の見通しを持っているか」を評価する。</p>
		<p>めあて わたしたちが住む県の位置や特色、各地の人々の暮らしについて、地図や資料を使って、調べてみましょう。</p>		

小単元名	日本地図を広げて			教科書のページ	p.10～15
配当時数	2時間	活動時期	4月	学習指導要領の内容	(1)アイ

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)(2)日本地図を広げて				
<ul style="list-style-type: none"> 日本の都道府県について、それぞれの名前と場所を調べ、白地図にまとめてみましょう。 <p style="text-align: right;">p.10～15</p>	2	<p>① 教科書 p.10～15 の三つの日本地図や、特産品や地形などのテーマごとに整理されている 47 都道府県カードや地図帳などを活用して、各都道府県の名称と位置について調べ、白地図にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 47 都道府県の名称と位置 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>わたしたちの県のほかにも、たくさんの都道府県があり、日本は 47 都道府県によって構成されている。</p> </div>	<p>◆さまざまな場面において都道府県の名称と位置についての指導を効果的に行うために、都道府県名が書かれた日本地図や日本の白地図などを教室の見やすい位置に掲示しておきたい。</p>	<p>【知技】 白地図の記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、47都道府県の名称と位置について理解しているか」を評価する。</p>

小単元名	1. 県の広がり		教科書のページ	p.16～31
配当時数	8時間	活動時期	4～5月	学習指導要領の内容 (1)アイ

小単元の目標		都道府県の様子について、我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめ、県の様子をとらえ、地理的環境の特色を考え、表現することを通して、自分たちの県の地理的環境の概要を理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などについて地図帳や各種の資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、県の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、自分たちの県の地理的環境の概要を理解している。
	思考・判断・表現	①我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して、問いを見出し、県の様子について考え表現している。 ②県の位置や県全体の地形、主な産業、交通網や主な都市の位置などの情報を総合して県の地理的環境の特色を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①県の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)日本の中の宮城県				
<p>・つかむ わたしたちの住む宮城県について話し合い、学習問題をつくりましょう。</p> <p>p.16～17</p>	1	<p>①地図帳を活用し、自分たちの県や周囲の様子で知っていることを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮城県のまわりには、岩手県、秋田県、山形県などがある。 蔵王山などの山がある。 新幹線や地下鉄が通っている。 <p>②自分たちの県のどのようなことを調べたいか、話し合い、学習問題をつくる。</p>	<p>◆ p.16 資料 1 「地図帳の宮城県」や地図帳などを活用して調べるようにする。</p> <p>◆地形、主な都市の位置、交通網、産業に着目させ、学習問題をつくるようにしていく。</p> <p>◆白地図にまとめていくことを伝える。</p>	<p>【思判表①】</p> <p>発言内容やノートの記事内容から、「県の位置、地形や産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して、問いを見出しているか」を評価する。</p>
(2)学習の進め方				
<p>・学習問題をつくり、学習の進め方をかくにんしよう。</p> <p>p.18～19</p>	1	<p>① 小単元の「つかむ→調べる→まとめる→いかす」という学習の流れを確認する。</p> <p>②学習問題について予想を立て、実際に見学したり、インター</p>	<p>◆問題解決的な学習の進め方について学ばせる。</p> <p>◆調べる内容だけでなく、調べ方やまとめ方についても指導す</p>	<p>【態度①】</p> <p>発言内容やノートの記事内容から、「予想や学習計画を立て、学習問題を解決する見通しを持っているか」</p>

		<p>ネットやガイドブック、写真や地図、他校への手紙などで調査したりして、自分たちの県について調べる計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習の進め方をおさえる。 	る。	を評価する。
(3) 宮城県の地形				
<p>・調べる 宮城県では、どのような地形が見られるのでしょうか。</p> <p>p.20～21</p>	1	<p>①県の衛星写真や地勢図を見て、気づいたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域によって地形が違う。 <p>②県の地形について調べ、白地図などにまとめ、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の西の方は、山が多い。 ・北上川や阿武隈川が流れている。 <p>宮城県の北東部にはリアス海岸があり、仙台湾に面している地域には平地が広がる。また、西部には山地が広がる。</p>	<p>◆各地の地形にはどのような違いがあるか、衛星写真や地勢図を活用して調べるようにする。</p> <p>◆p.21「まなび方コーナー」を参考に、地勢図の読み取り方をおさえる。また、地勢図と断面図を比べることで、土地の高さと地形についてつかむようにする。</p> <p>◆ことば「地形」を確認する。</p>	<p>【知技①】</p> <p>発言内容やノート、白地図の記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、県全体の地形の様子について理解しているか」を評価する。</p>
(4) 宮城県の土地利用の様子				
<p>・調べる 宮城県では、地形によって、どのように土地が使われているのでしょうか。</p> <p>p.22～23</p>	1	<p>①県の土地利用図や写真、地勢図などを見て、気づいたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低い土地と高い土地では、土地の利用のしかたが違う。 ・仙台市は市街地が多い。 <p>②県内の土地がどのように利用されているか、調べ、白地図にまとめ、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の東側の低い土地では米をつくるための田が広がっている。 ・蔵王町の蔵王連峰にはスキー場がある。 <p>宮城県の東側の低い土地には、市街地や田が広がっていて、西側の山地には森林が多く広がっている。</p>	<p>◆自分たちの住むまちは、どのような土地の使われ方をしているのか、土地利用図や写真を活用して調べるようにする。</p> <p>◆p.22「まなび方コーナー」を参考に、土地利用図の読み取り方をおさえる。また、p.21の地勢図と見比べることで、県の土地利用の特色を考えるようにする。</p> <p>◆ことば「土地利用」を確認する。</p>	<p>【知技①】</p> <p>発言内容やノート、白地図の記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、県の土地利用の様子について理解しているか」を評価する。</p>

(5)宮城県の市や町、村				
<p>・調べる 宮城県には、どこにどのような市や町、村があるのでしょうか。</p> <p>p.24～25</p>	1	<p>①地図帳を活用して、自分たちの市や町、村が県内のどこにあるか、調べる。</p> <p>②県内の主な市や町、村の名前、位置、人口などを調べ、白地図にまとめ、話し合う。</p> <p>・県庁所在地は仙台市である。</p> <p>・雄勝すずりで有名な石巻市雄勝町は県の東側にある。</p> <p>・美しい景観で有名な松島町は、太平洋に面している。</p> <p>宮城県の県庁所在地は仙台市である。また、松島町や石巻市など多くの市町村がある。</p>	<p>◆自分たちが住むまちは、県内のどこにあるのか、地図帳などを活用して調べ、県の白地図に自分たちの市の位置を着色させることなどを通して確認させる。</p> <p>◆p.25 資料³を参考に、地図帳の縮尺を使って、主な市町村と県庁所在地である仙台市間の距離を調べさせる。</p> <p>◆ことば「県庁所在地」を確認する。</p>	<p>【知技①】 発言内容やノート、白地図の記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、県内の市町村や主な都市の位置について理解しているか」を評価する。</p>
(6) 宮城県の交通の広がり				
<p>・調べる 宮城県の交通は、どのように広がっているのでしょうか。</p> <p>p.26～27</p>	1	<p>①県内の主な道路や鉄道の広がり、港や空港などの位置、陸海空の交通網の特色について調べ、白地図にまとめ、話し合う。</p> <p>・東北自動車道があり、南北の移動が便利。</p> <p>・仙台市の近くには空港や港があって、大阪、福岡、韓国や台湾などと結ばれている。</p> <p>宮城県には、新幹線や高速道路、空港や港が多くあり、交通が発達している。</p>	<p>◆それぞれの交通は、どこどこを結んでいるのか、地図帳などを活用して調べるようにする。</p> <p>◆鉄道、高速道路、空港、港を調べ、主な都市の分布との関係を考える。</p> <p>◆他県や外国とのつながりにも目を向けるようにする。</p> <p>◆ことば「交通」を確認する。</p>	<p>【知技①】 発言内容やノート、白地図の記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、県の交通の様子について理解しているか」を評価する。</p>
(7)宮城県の主な産業				
<p>・調べる 宮城県には、どこにどのような産業があるのでしょうか。</p> <p>p.28～29</p>	1	<p>①県内には、どこにどのような産業があるか調べ、白地図にまとめ、話し合う。</p> <p>・石巻市、気仙沼市では、水産業がさかんである。</p>	<p>◆県の産業振興課などからパンフレットや産業マップなどを取り寄せたり、インターネットで調べたりする。</p>	<p>【知技①】 発言内容やノート、白地図の記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、県の主な産業の様子について</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・大崎市，栗原市，登米市では，米づくりがさかんである。 ・白石市，蔵王町，大崎市などではこけしづくりがさかんである。 <p>宮城県では，各地域の自然条件に合わせたさまざまな産業がある。また，伝統的な産業も多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆p.29「まなび方コーナー」を参考に，産業と地形との関係などを調べ，白地図にして表現する。 ◆ことば「産業」を確認する。 	て理解しているか」を評価する。
--	--	--	--	-----------------

(8)県の特徴をまとめる

<ul style="list-style-type: none"> ・まとめる 調べたことをもとに，宮城県の特色について話し合しましょう。 p.30～31 	1	<p>①これまでに調べたことをもとに，県の特徴について白地図にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの県の位置，県全体の地形，主な産業の分布，交通網，主な都市の位置を整理する。 <p>②県の特徴についてまとめたことをもとにして話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の東側では水産業がさかん。地形や自然を生かした観光に力を入れている地域もある。 ・仙台市を中心に東西南北に交通が広がっている。空港もあり，遠くの県や外国にも行くことができる。 <p>宮城県には，特色ある地形とそれらを生かしたさまざまな産業がある。また，主な都市は平地を中心に分布し，それらを結ぶように交通が広がっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆今までの学習で作成してきた作品（白地図）を活用して，効率よく話し合うことができるようにする。 ◆学習問題を確認し，p.30「ことば」を使って，まとめるようにする。 ◆地形と土地利用のかかわりや交通と産業のかかわりなど，関連する項目について視点を与えながら考えるようにする。 ◆3年生で学習した市や町，村の様子と比べ，違うことや似ていること，同じことを整理できるようにする。 	<p>【知技②】 ノート，白地図の記述内容から，「調べたことをまとめて，自分たちの県の地理的環境の概要を理解しているか」を評価する。</p> <p>【思判表②】 発言内容やノート，白地図の記述内容から，「学習したことをもとに，県の位置や県全体の地形，主な産業，交通網や主な都市の位置などの情報を総合して県の地理的環境の特色を考え表現しているか」を評価する。</p>
---	---	--	--	--

単元名	2. 住みよいくらしをつくる (オリエンテーション)			教科書の ページ	p.32～33
配当時数	1 時間	活動時期	5 月	学習指導要 領の内容	(2)アイ

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)オリエンテーション				
<ul style="list-style-type: none"> だれが何をしているか、絵を見て考えてみましょう。 p.32～33 	1	①教科書のイラストを見て、まちの中で、住みよいくらしをつくるためのしくみや人々の働きをさがし、これらの事業について話し合う。 ・まちには、水道やごみの処理などに関わる仕事をする人がいるから生活できる。	◆キャラクターのセリフから、働いている人に注目させる。	【態度】 発言内容やノートの記述内容から、「人々の健康や住みよいくらしを支えているしくみや人々の働きなどに着目して、学習の見通しを持っているか」を評価する。
		めあて わたしたちのまちの健康で住みよいくらしをささえているしくみや人々の働きを調べてみましょう。		

小単元名	1. 水はどこから		教科書のページ	p.34～51
配当時数	11 時間	活動時期	5～6 月	学習指導要領の内容 (2)ア-(7)ウ, イ - (7)

小単元の目標		飲料水を供給する事業について、供給のしくみや経路、県内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、飲料水の供給のための事業の様子をとらえ、その事業が果たす役割を考え、表現することを通して、飲料水を供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとに自分たちに協力できることを考えようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①供給のしくみや経路、県内外の人々の協力などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、飲料水の供給のための事業の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、飲料水を供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。
	思考・判断・表現	①供給のしくみや経路、県内外の人々の協力などに着目して、問いを見出し、飲料水の供給のための事業の様子について考え表現している。 ②飲料水の供給のための事業に見られるしくみや人々の協力関係と地域の人々の健康や生活環境を関連付け、飲料水の供給のための事業の果たす役割を考えたり、学習したことをもとに、節水や水を汚さないために自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①飲料水を供給する事業について、予想や学習計画を立て学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことをもとに、節水や水を汚さないために自分たちが協力できることを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)わたしたちの生活と水		★他教科との関連：算数		
<p>・つかむ わたしたちは、水をどのように使っているのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p.34～35</p>	1	<p>①写真を見て、生活の中で水を使う場面を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校のプールでたくさん使う。 ・学校の水道で手を洗う。 ・工場や米づくりなどの農業でも利用する。 <p>②市の人口の変化のグラフと市の給水量の変化のグラフを比べてわかったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の人口は増え続けている。 ・給水量も増えている。 ・ある時期から給水量の増え方が小さくな 	<p>◆生活の中で水を使う場面を想起させ、自分たちの生活には水が大量に必要なことに気づかせる。</p> <p>◆資料[6]と資料[7]を比べさせ、一方が増え続けているのに、片方は最近減っていることに気づかせる。</p>	<p>【知技①】</p> <p>発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を読み取り、飲料水の使用・供給の現状について理解しているか」を評価する。</p>

		り、最近では給水量が減っている。		
		水は、生活や産業のいろいろな場面で使われる大切な資源であり、市の人口の増加とともに、給水量も増えている。		
(2)わたしたちが使う水はどこから				
<p>・つかむ わたしたちが使う水はどこから送られてくるのか考え、学習問題をつくりましょう。</p> <p>p.36～37</p>	1	<p>①水道メーターや水道管を観察して気づいたことや疑問に思ったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 水道管は川とどこでつながるのかな。 <p>②水の通り道のイラストを見て、気づいたことや疑問に思ったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 水はダムから川を流れてくる。 川にはたくさんの浄水場がある。 浄水場から水道管を流れて学校や家庭に届けられる。 <p>③疑問に思ったことをもとにして学習問題をつくる。</p>	<p>◆水道メーターの観察などを通して、水が送られてくるしくみに関心を持たせる。</p> <p>◆資料③や資料④を読み取らせながら、山やダム、川、浄水場から水道までの大まかな水の経路について気づかせる。</p>	<p>【思判表①】 発言内容やノートの記述内容から、「水の供給のしくみや経路などに着目して、問いを見出しているか」を評価する。</p>
		<p>学習問題 わたしたちの生活に欠かせない水は、どこでどのようにきれいにされ、送られてくるのでしょうか。</p>	<p>④学習問題について予想し、調べること・調べ方・まとめ方について話し合う。</p>	
(3)(4)きれいな水をつくる				
<p>・調べる じょう水場では、どのようにして、水をきれいにしているのでしょうか。</p> <p>p.38～39</p>	2	<p>①三野浄水場の写真や岡山市の浄水場の分布図を見て気づいたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 川の近くにある。 プールのようなものが多く並んでいる。 周囲の建物と比べるとかなり広い。 <p>②川の水を飲料水にするまでの浄水場のし</p>	<p>◆プールのような施設や薬品、コンピューター管理など、水をきれいにする浄水場のしくみや働きに着目して考えさせる。</p>	<p>【知技①】 発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、浄水場で水をきれいにするしくみについて理解しているか」を評価する。</p>

		くみを調べる。 ・川の水の中にある砂やごみを取り除く。 ・薬も入れる。 ・コンピューターを使って管理をする。		
		浄水場には、川の水をきれいにするしくみがあり、そこで働く人々は、さまざまな工夫をしながら、市民が安心して飲める飲料水を供給している。		

(5)(6)安全できれいな水をつくるために

・調べる じょう水場では、安全できれいな水をつくるために、どのようなことをしているのでしょうか。 p.40～41	2	①安全できれいな水をつくる取り組みについて調べる。 ・浄水場から送る水に、濁りやばい菌がないか水質検査をしている。 ・検査には新しい機械も使っている。 ②昔と今の水の入手方法のイラストや水道の歴史年表などから、浄水場などの水道施設の役割について考え、話し合う。 ・昔は川や井戸の水を使っていた。 ・水質の問題で病気になったり、水不足が起きたりしている。	◆浄水場では、川の水から砂・ごみなどを取り除くだけでなく、濁りやばい菌も取り除き、安全できれいな水をつくり続けていることに気づかせる。 ◆過去から現在にいたるまでの水の入手方法の変化に着目して、公衆衛生の向上という浄水場の役割について考えさせる。	【思判表①】 ノートの記述内容から、「現在にいたるまでに安全で安定的に水を供給するしくみがつくられ、計画的に改善されてきたことについて考え表現しているか」を評価する。
		浄水場では、安全できれいな水をつくるために、いろいろな工夫をしている。また、水道事業は現在にいたるまで計画的に改善が進められてきている。		

(7) ダムの働き

・調べる ダムは、どのような働きをしているのでしょうか。 p.42～43	1	①湯原ダムのある場所（蒜山高原）と岡山市の場所を地図で確かめ、降水量のグラフを比べてわかったことを話し合う。 ・岡山県では、上流の方が雨の降る量が多いので、上流にダムをつくった。 ②ダムの分布から、どのような場所にダム	◆降水量が少ない岡山市の給水を止めないために、降水量が多い上流にダムを建設して貯水していることに気づかせる。 ◆旭川以外の大きな河川にもダムがあることに気づかせて、岡山	【知技①】 発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、安全で安定的に水を供給するためのダムの役割について理解しているか」を評価する。
---	---	---	---	---

		<p>があるのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上流や山の多いところにダムがある。 ・高梁川，吉井川にもダムがある。 <p>③ダムにはどのような働きがあるのか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水不足にならないように必要なときに水を流している。 	<p>県全体で計画的に飲料水の確保の努力をしていることを考えさせる。</p> <p>◆水の確保，川の水量調節，水力発電などに着目してダムの役割やダムの建設への願いについて考えさせる。</p>	
		<p>川の上流にあるダムは水を蓄えるとともに，川の水量に応じて計画的に放水したり，発電したりする役割がある。</p>		

(8) 森の働き

<p>・調べる 森は，どのような働きをしているのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p.44～45</p>	1	<p>①旭川の源流がどこにあり，森林はどのように広がっているかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山県の大らかな川の上流には水源の森が広がっている。 <p>②水源の森の役割について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森は水をためるので「緑のダム」とも呼ばれている。 <p>③水源の森を守る取り組みについてわかったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林のある山は，豊かな栄養を含み澄んだおいしい水を生み出す力がある。 ・水源の森を守るために，役場の人や下流の岡山市の水道局の人々が協力しながら木を植えている。 	<p>◆資料[2]を使いながら水源の森の場所や広がりに着目して考えさせる。</p> <p>◆下流の岡山市の水道局や上流の村役場がわざわざ木を植えたり，山を見回ったりする理由を考えさせる。</p>	<p>【思判表①】</p> <p>ノートの記述内容から，「水源の森を守るために，市の水道局や川の上流の村役場などが協力しながら取り組んできたことについて考え表現しているか」を評価する。</p>
		<p>森はダムのように雨水を蓄え，豊かで美しい水をつくり出している。市の水道局や川の上流の村役場などは協力しながら水源の森を守る取り組みを行っている。</p>		

(9) 水のじゅんかんについて考える		★他教科との関連：理科	
<p>・調べる 生活に使った水は、その後どうなるのでしょうか。</p> <p>p.46～47</p>	1	<p>①学校や家庭で使った水は、その後どうなるのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> そのまま川に流すと汚くなるので、下水処理場できれいにされて川に流される。 <p>②水の循環のイラストを見ながら、水と自分たちの生活とのつながりについてまとめ、水を繰り返し使うための取り組みについて話し合いながら、学習問題の解決について見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 川や海、地上の水はやがて雨となり、水源の森やダムに蓄えられる。 水は大切なので、きれいにして流したり、繰り返し使ったりしている。 <p>学校や家庭で使われた水は、下水処理場できれいにされて川に流される。水は循環しており、再利用するなど大切に使われている。</p>	<p>◆資料④を読み取らせることで、水は地上と空を循環していることに気づかせる。</p> <p>◆身近にある水を繰り返し使う取り組みを調べて、水の再利用について関心を持たせる。</p> <p>【態度①】 発言内容やノートの記述内容から、「これまでの学習を振り返り、まだ解決できていない水の再利用のしかたについて学習しているか」を評価する。</p>
(10)水の流れをまとめる			
<p>・まとめる 水はどのようにつくられ、送られてくるのかをまとめてみましょう。</p> <p>p.48～49</p>	1	<p>①学習問題を確認した上で、説明文を加えながら水が送られてくるまでの流れを図に整理する。</p> <p>②「水はどのようにつくられ、送られてくるのか」について話し合う。</p> <p>③いろいろな場所を比較して、その特色を話し合う。</p> <p>飲料水を供給するための事業は、安全で安定的に供給するしくみがつくられ、計画的に改善が進められており、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っている。</p>	<p>◆p.48「ことば」を生かしながら説明文をまとめるように指示する。</p> <p>◆今まで学習した教科書の資料や、ノートの記述などを見直させて、それぞれの働きを説明するのにふさわしい文章を書くように助言する。</p> <p>【知技②】 ノートの記述内容から、「飲料水を確保するための事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていること、それらは地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解しているか」を評価する。</p>

(11)大切な水のために				
<p>・いかず かぎりある水を使い続けるために、自分たちにできることを考えてみましょう。</p> <p style="text-align: right;">p.50～51</p>	1	<p>①これまで学習したことを生かしながら、「自分たちにできること」を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯磨きやシャワーを使うときに節水に気をつける。 <p>②地域の環境を守る活動に参加する。</p> <p>③水について学習したことを発表する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>水は限りある資源であり、使い続けていくために、自分たちにできることを考えることが大切である。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆自分たちにできることを考える際には、インターネットなどを活用しながら情報を集めるように助言する。 ◆話し合いをふまえて、その後どのような活動をしたのか、どのようなことを考えたのかなどについて、発表する機会を持つようにする。 	<p>【態度②】 発言内容やノートの記述内容から、「学習したことをもとに、節水や水を汚さないために、自分たちが協力できることを考えようとしているか」を評価する。</p> <p>【思判表②】 発言内容やノートの記述内容から、「学習したことをもとに、節水や水を汚さないために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現しているか」を評価する。</p>

小単元名	2. ごみのしよりと利用		教科書のページ	p.56～73
配当時数	12 時間	活動時期	6～7 月	学習指導要領の内容 (2)ア-(イ)ウ, イ-(イ)

小単元の目標		<p>廃棄物を処理する事業について、処理のしくみや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、廃棄物の処理のための事業の様子をとらえ、その事業の果たす役割を考え、表現することを通して、廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとにごみの減量のために自分たちが協力できることを考えようとする態度を養う。</p>
小単元の観点別評価規準	知識・技能	<p>①処理のしくみや再利用、県内外の人々の協力などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、廃棄物の処理のための事業の様子を理解している。</p> <p>②調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。</p>
	思考・判断・表現	<p>①処理のしくみや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、問いを見出し、廃棄物の処理のための事業の様子について考え表現している。</p> <p>②廃棄物を処理するしくみや人々の協力関係と地域の良い生活環境を関連付け、廃棄物の処理のための事業の果たす役割を考えたり、学習したことをもとに、ごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。</p>
	主体的に学習に取り組む態度	<p>①廃棄物を処理する事業について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>②学習したことをもとにごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えようとしている。</p>

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)ごみを分別する				
<p>・つかむ 家では、ごみをどのように出し、出されたごみは、どのようにしゅう集されるのでしょうか。</p> <p>p.56～57</p>	1	<p>①家庭のごみの出し方を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみを種類ごとに分けて出していて、種類によって出す日が違う。 <p>②種類別のごみの量のグラフから考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃えるごみが一番多い。 ごみの分別は大変だけど、とても大切なことだと思う。 <p>③ごみ置き場の看板を見て、気づいたことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 看板には、ごみを出すときに注意するこ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ごみの分別に気づかせるとともに、なぜ種類別に出すのかに疑問を持たせる。 ◆燃えるごみを中心に、出されるごみの量が多いことから、分別が必要であることに気づかせる。 ◆ごみ置き場の看板に書かれているきまりを読み取らせる。 	<p>【知技①】 発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を読み取り、身のまわりのごみの分別・処理の現状について理解しているか」を評価する。</p>

		<p>とが書いてある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 種類ごとに出す曜日が決まっている。 ごみの出し方には細かいきまりがある。 <p>ごみは、分別して出されている。</p>		
(2)ごみのゆくえ				
<p>・つかむ ごみのゆくえを考えることを通して、学習問題をつくりましょう。</p> <p>p.58～59</p>	1	<p>①ごみのゆくえを考えながら、学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 収集されたごみはどこに運ばれ、どのように処理されるのだろうか。 処理の方法は種類ごとに違うのかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆収集作業員の人の話から、分別のきまりを守ることがなぜ大事なのか考えさせる。 ◆収集されたごみがどこにどのように運ばれるのかを、種類別に考えさせる。 ◆分別を守らない人がいることにも気づかせる。 	<p>【思判表①】 発言内容やノートの記述内容から、「処理のしくみや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、問いを見出しているか」を評価する。</p> <p>【態度①】 発言内容やノートの記述内容、学習計画表から「予想や学習計画を立て、学習問題を解決する見通しを持っているか」を評価する。</p>
		<p>学習問題 分別して出され、しゅう集されたごみは、どのようにしてしよりされるのでしょうか。</p> <p>②学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 清掃工場を見学して、燃えるごみの処理のしかたについて調べてみたい。 調べたことはカードにまとめ、友だちに発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆学習問題をつくる、学習問題について予想する、学習計画を立てるという、問題解決的な学習の過程を辿らせる。 	
★他教科との関連：国語				
(3)(4)もえるごみのゆくえ				
<p>・調べる せいそう工場では、ごみをどのようにもやしているのでしょうか。</p> <p>p.60～61</p>	2	<p>①清掃工場を見学して、わかったことをノートに整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きなクレーンや焼却炉がある。 1日に約300トンのごみを燃やしている。 <p>②燃やした後に残った灰のゆくえについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 別の場所に埋められるのではないかな。 再利用されるのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆見学だけでなく、清掃工場の人のお話や、入手したパンフレットなどから、清掃工場のしくみを総合的に理解させる。 ◆清掃工場はごみを燃やすだけでなく、発電や排ガスの無害化などにも配慮していることに気づかせる。 	<p>【知技①】 ノートの記述内容や発言内容、学習計画表から、「必要な情報を集め、読み取り、燃えるごみを処理するしくみなどについて理解しているか」を評価する。</p>
		<p>清掃工場にはごみ処理のしくみがあり、いろいろな機械や設備を使って、ごみを燃やしている。</p>		

(5) (6)もやした後のくふう				
<p>・調べる ごみをもやした後のくふうには、どのようなものがあるのでしょうか。 p.62～63</p>	2	<p>①ごみを燃やした後の灰がどのように処理されるかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処分場には環境に配慮したさまざまな工夫がある。 ・灰の一部はエコスラッグとなって生まれ変わり、道路工事などに利用される。 <p>②ごみを燃やした時の熱をどのように利用しているかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温水プール ・温泉 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ごみを燃やしたときに出る灰や処理熱は、適切に処理されたり、有効に利用されたりしている。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ごみを燃やした後の灰は、環境に配慮して、安全に埋め立てられていることに気づかせる。 ◆処分場の使用年数には限りがあることや、処分場の選定に関わる課題についてもここで触れておくとよい。 ◆灰の再利用や焼却熱の有効活用は計画的に行われ、地域の人々の生活環境の維持と向上に役立っていることに気づかせる。 	<p>[知技①] ノートの記述内容や発言内容、学習計画表から、「必要な情報を集め、読み取り、燃やした後の灰の処理や燃やした時の熱の利用のしくみなどについて理解しているか」を評価する。</p>
(7) (8)ごみが生まれ変わる				
<p>・調べる しげん物やそごみは、どのように再利用されているのでしょうか。 p.64～65</p>	2	<p>①資源物や粗大ごみのリサイクルについて、リサイクル施設を見学して調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源物の選別はとても大変だ。 ・ペットボトルは服や再生ペットボトルなどに生まれ変わる。 ・粗大ごみも使えるものは修理して再利用される。 <p>②身のまわりにリサイクルされて使われているものがないかを考え、発表して話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車 ・服 ・たんす <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>資源物や粗大ごみは再利用され、資源の節約に役立っている。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆リサイクル施設の見学や調査を通して、ごみを資源化することは資源の有効利用につながることを考えさせる。 ◆リサイクルの資料を見るときには、身のまわりにリサイクルされているものがあるか着目させる。 	<p>[知技①] ノートの記述内容や発言内容、学習計画表から、「必要な情報を集め、読み取り、燃えないごみや資源ごみ、粗大ごみを再利用するしくみなどについて理解しているか」を評価する。</p> <p>[態度①] 発言内容やノートの記述内容から、「これまでの学習を振り返り、さらに調べるべきことを考え、ごみ処理に関わる問題について調べる見通しを持っているか」を評価する。</p>
(9) ごみしよりがかかえる問題				
<p>・調べる ごみしよりがかかえる問題を、市はどのようにかいけつしようとしているのでしょうか。 p.66～67</p>	1	<p>①資料①と資料②を関連付けて、考えたことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔は、ごみを燃やしたり埋めたりしてい 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ごみ処理の移り変わりの資料を見るときには、どのように変わってきたのかに 	<p>[知技①] ノートの記述内容や発言内容から、「ごみの処理について、現在にいた</p>

		<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの処理に関わる問題について，市は計画的に取り組んでいる。 ②ごみの処理が抱える新しい問題について調べ，わかったことを発表し合う。 ・分別に協力しない人がいる。 <p>ごみの処理についての問題を，市は県内外の人々の協力とともに計画的に解決しようとしている。</p>	<p>着目させる。</p> <p>◆ごみの処理に関わる新しい問題を解決していくためには，市の計画的な対策や事業が必要であることを考えさせる。</p>	<p>るまでに衛生的に処理するしくみがつくられ，計画的に改善されてきたことや，まだ解決できていない問題について理解しているか」を評価する。</p>
(10) ごみしよりのくふう				
<p>・調べる ごみをへらすために，わたしたちのまわりでは，どのような取り組みが行われているのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p.68～69</p>	1	<p>①ごみを減らすために，家庭・学校・商店・地域がそれぞれどのような取り組みを行っているかを調べ，発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭では，ごみの分別をしている。 ・学校では，ごみの減量に努めている。 ・商店では，エコバッグの利用を勧めている。 <p>家庭・学校・商店・地域の人々は，ごみ処理についてさまざまな工夫に取り組み，協力して住みよいくらしをつくらうと努力してい</p>	<p>◆家庭・学校・商店・地域ごとに取り組みの内容が異なることを意識させながら，それぞれの取り組みをまとめさせる。</p> <p>◆家庭・学校・商店・地域のごみの処理の対策や事業は，関連し合っ進められていることに気づかせる。</p>	<p>【知技①】</p> <p>ノートの記述内容や発言内容から，「必要な情報を集め，読み取り，ごみを減らすために人々が協力し，地域での取り組みが行われていることについて理解しているか」を評価する。</p>
(11)ごみのしよりについてまとめる				
<p>・まとめる ごみのしよりについてわかったことや考えたことをカードにまとめ，発表してみましょう。</p> <p style="text-align: right;">p.70～71</p>	1	<p>①p.70「まなび方コーナー」の手順にしたがって，これまでの学習でわかったことや考えたことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみを減らすことが必要だ。 ・自分にできることはあるのだろうか。 <p>②自分の考えをノートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの処理にはいろいろな工夫がある。 ・ものを大切にすることがごみの減量につ 	<p>◆学習した内容をまとめる場面では，「わかったこと」と「考えたこと」の二つの観点からまとめさせる。</p> <p>◆自分の考えをまとめる場面では，発表する場面を通じて考えたことをまとめるように指示する。</p>	<p>【知技②】</p> <p>カードの記述内容や発言内容から，「調べたことをまとめて，衛生的な処理や資源の有効利用ができるように進められていること，それらは生活環境の維持と向上に役立っていることを理解しているか」を評価する。</p>

		<p>ながる。</p> <p>ごみを処理するためのさまざまな取り組みは、衛生的な処理や資源の有効利用ができるように進められ、地域の人々の生活環境の維持と向上に役立っている。</p>		
(12)自分たちにできることを考える				
<p>・ いかす ごみをへらすために、自分たちにできることを考えてみましょう。</p> <p style="text-align: right;">p.72～73</p>	1	<p>①ごみを減らすために自分たちにできることを考え、発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物の手伝いをするときには、エコバッグを使いたい。 ・ 家でごみの分別をするときには手伝いたい。 ・ 地域の人のごみ置き場の掃除をしているのを見かけたら、協力したい。 <p>ごみを減らすために、自分たちにできることを考えることが大切である。</p>	<p>◆これまでの学習をふまえ、自分たちにできることを考えさせるようにする。</p> <p>◆自分たちにできることが本当にごみの減量に役立つのかどうかを考えさせるために、だれに協力するのか（質問1）、どのように協力するのか（質問2）を意識させるようにする。</p>	<p>【態度②】 ノートの記述内容や発言内容から、「学習したことをもとにごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えようとしているか」を評価する。</p> <p>【思判表②】 ノートの記述内容や発言内容から、「学習したことをもとにごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現しているか」を評価する。</p>

単元名	2. 自然災害からくらしを守る (オリエンテーション)		教科書の ページ	p.76～77
配当時数	1 時間	活動時期	9 月	学習指導要 領の内容 (3)アイ

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)県内のさまざまな自然災害		★他教科との関連：理科		
<p>・わたしたちが住んでいる県では、どのような自然災害が起きてきたのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p.76～77</p>	1	<p>①わたしたちの住んでいる静岡県の地形と自然災害の様子を確かめ、気づいたことや考えたことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡県は山があつて海に面してもいる。 ・だから自然災害も多いのかな。 ・いつ起きるかわからない地震にはどのような取り組みをしているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆日本における静岡県の位置を確認する。 ◆地形の豊かさ＝自然災害の多さに目を向けさせる。 ◆地震災害の多さに着目させる。 	<p>[態度]</p> <p>発言内容やノートの記事内容から、「県内で過去に起こったさまざまな自然災害を概観し、学習の見通しを持っているか」を評価する。</p>
		<p>めあて 地震から人々を守る活動について、調べてみましょう。</p>		

小単元名	1. 地震からくらしを守る			教科書のページ	p.78～95
配当時数	9 時間	活動時期	9～10 月	学習指導要領の内容	(3)ア - (7)(イ), イ - (7)

小単元の目標		自然災害から人々を守る活動について、過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりしてまとめ、災害から人々を守る活動をとらえ、その働きを考え、表現することを通して、地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、さまざまな協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、さまざまな備えをしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることを考えようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などについて、聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、災害から人々を守る活動を理解している。 ②調べたことを年表や図表、文などにまとめ、地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、さまざまな協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、さまざまな備えをしていることを理解している。
	思考・判断・表現	①過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、問いを見出し、災害から人々を守る活動について考え表現している。 ②自然災害が発生した際の被害状況と災害から人々を守る活動を関連付けて、その働きを考えたり、学習したことをもとに地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることを考えたり選択・判断したりして表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①自然災害から人々を守る活動について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことをもとに地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)地震が起きたら				
<p>・つかむ 地震によって、どのようなことが起きるのでしょうか。</p> <p>p.78～79</p>	1	<p>①自分たちの住んでいる静岡県では、過去にどのような地震災害が起こったか知っていることを発表する。</p> <p>・伊豆半島沖地震は大きかったとお父さんが言っていた。</p> <p>②地震災害年表でもたしかめてみる。</p> <p>・東南海地震というものもある。</p> <p>・こうしてみると静岡県は地震が多いね。</p> <p>③写真や地図を見て気づいたことを話し合う。</p> <p>・建物が壊れて、道路</p>	<p>◆県内で過去に起きた地震について目を向けられるように、年表や写真などを準備しておく。</p> <p>◆地震で起こる二次被害（火事や津波）、自衛隊が働く様子から連携体制などをおさえておく。</p>	<p>【知技①】</p> <p>発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を読み取り、県内で過去に起きた災害の概要について理解しているか」を評価する。</p>

		<p>にひびが入っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火事も怖いけど津波も怖いよね。 ・どのような対策をしているのだろう。 <p>静岡県や浜松市では、過去に大きな地震が発生しており、近年にも大地震の発生する確率がきわめて高い地域である。そのための対策や協力は欠かせない。</p>		
--	--	--	--	--

(2)地震とわたしたちの暮らし

<p>・つかむ 地震によって、わたしたちの暮らしはどうかを考え、学習問題をつくりましょう。</p> <p>p.80~81</p>	1	<p>①前時と本時の写真を見て、地震が自分たちの暮らしに与える影響や気づいたことについて話し合い、疑問から学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家や建物が壊れて住めない。 ・学校の体育館に多くの人が避難して生活しているのをテレビで見たことがある。 ・自分たちだけではどうしようもない。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆大きな地震がひとたび来ると甚大な被害が各方面に起こることに気づかせる。 ◆一人の力ではどうしようもないこと、そのためにはどうすればよいかを考えさせる。 	<p>【思判表①】 発言内容やノートの記述内容から、「地震災害時における人々の生活に着目して、問いを見出しているか」を評価する。</p> <p>【態度①】 発言内容やノートの記述内容から、「予想や学習計画を立て、学習問題を解決する見通しを持っているか」を評価する。</p>
		<p>学習問題 地震からくらしを守るために、だれがどのようなことをしているのでしょうか。</p> <p>②地震が起きる前と起きた後で、だれが、どのような、に着目して予想を立て、学習計画を立てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆避難所生活については、まとめの学習にもつながってくるので関心を持たせておく。 	

(3)家庭でそなえているもの

<p>・調べる 家庭では、どのような取り組みをしているのでしょうか。</p> <p>p.82~83</p>	1	<p>①家庭では地震に備えてどのような取り組みをしているか、調べてきたことをカードに書いて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難用のリュックを準備している。 ・転倒防止の金具をたんすや食器棚につけている。 <p>②書いたカードを、地</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆あらかじめ宿題などで家でインタビューをさせておくとうい。 ◆挿絵や写真を見ながら話し合わせ、それ以外のものがあればどんどん出させる。 ◆起きる前の準備と起きた後の対策という視点は 	<p>【知技①】 インタビューメモやノートの記述内容、発言内容から、「必要な情報を集め、読み取り、家庭では、起きる前の準備と起きてからの対策をしていることを理解しているか」を評価する。</p>

		<p>震が起こる前の準備や備え，起きた後の協力や対策について分けてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難用のリュックは準備。 ・災害用伝言ダイヤルは対策。 ・準備と対策が大切だね。 <p>家庭では，地震に備えて避難リュックや転倒防止などの準備をしたり，災害用伝言ダイヤルや避難場所を確認したりするなどの対策をしている。</p>	<p>今後も大切なのでおさえておく。</p>	
--	--	--	------------------------	--

(4) 学校や通学路でそなえているもの

<p>・調べる 学校や通学路では，どのような取り組みをしているのでしょうか。 p.84～85</p>	1	<p>①学校や通学路ではどのような準備や対策をしているか，調べてわかったことを起きる前と起きた後に分けて発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練をしている。 ・通学路にも防災倉庫がある。 ・公園のブランコがテントになるらしい。 <p>②前時の家庭で備えていることについての学習と比べて，似ているところや違うところを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起きる前の準備と起きた後の対策をしているところは同じ。 ・学校は人数が多いので避難訓練を何度もしたり，多くの食料を準備したりしなければならない。 <p>学校や通学路では，地震に備えて避難訓練をしたり，防災倉庫を設置したり，広域避難地域を定めたりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆家での調べ活動や分類のしかたを，本時の学校や通学路の学習に生かすようにする。 ◆準備や対策にも気づかせる。 ◆家の学習と比較し，その規模や大きさに気づかせ，さらに大きな規模となる市全体に目を向けさせる。 	<p>【思判表①】</p> <p>メモやノートの記述内容，発言内容から，「家庭と同様に，学校や通学路でも，地震に対する備えをしていることについて考え表現しているか」を評価する。</p>
--	---	--	--	--

(5) 市の取り組み

<p>・調べる 市役所では，どのような取り組みをしているのでしょうか。 p.86～87</p>	1	<p>①浜松市ではどのような準備や対策をしているか，調べてわかったことを災害が起</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆市の防災課などに連絡を取り，直接話を聞いたり，質問を受け 	<p>【知技①】</p> <p>インタビューメモの記述内容や発言内容，ノートの記</p>
---	---	--	---	--

		<p>きる前と起きた後に分けて発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災計画を立てている。 ・大きな防潮堤を建設している。 <p>②津波の被害が予想される地域では、どのような準備や対策が取られているか考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少しでも高台に避難できるように津波避難ビルがある。 ・津波から身を守るための避難方法を示すパンフレットも見ることがあるよ。 <p>浜松市では、大地震による津波の発生に備えて、防潮堤を築いたり、ホームページやパンフレットを作成したり、避難場所と津波避難ビルの指定を行ったりしている。県や国ともすぐに連絡が取れるようにしている。</p>	<p>てもらったりできるとよい。できない場合は、事前に連絡を取り、話を聞いておいたり、調べたりできるような資料を準備しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市全体では、より大きな規模での準備や対策が取られていること、もしもの場合はさらに大きな県や国とも連携が取られることなどをおさえておく。 ◆特に東日本大震災を教訓として、海沿いの地域の津波対策は必須であり、地域それぞれの対策を行っていることなどに目を向けさせる。 	<p>述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、浜松市でも、大地震に対する準備や対策、静岡県や国との連携をはかっていることについて理解しているか」を評価する。</p>
(6) 市と住民の協力				
<ul style="list-style-type: none"> ・調べる 市と住民は、どのような取り組みをしているのでしょうか。 <p style="text-align: right;">p.88～89</p>	1	<p>①浜松市と地域住民の連携について、調べてわかったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所の人と地域の代表の人が話し合いをしている。 ・市役所の人と一緒に避難行動計画を立てている。 <p>②浜松市と地域住民の準備や対策について、インタビューやパンフレット、ホームページなどからわかることを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップをつくるときは地域の人々の意見が大切。 <p>浜松市では、大地震が起きたときに備えて、地域の人々も参加して避難行動計画を立て、地域の人々が協力して避難訓練に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆そもそも、浜松市と地域住民が大規模地震に際して、どのように考えているのかを調べ、共通の土台に立つようにする。 ◆市も地域住民の意見を聞きたい、地域住民も市の力や助けが必要、というどちらにとってもよい関係であることをおさえる。 ◆地域によって、地形も違い立地条件も違うので、自分たちの市や町のハザードマップを必ず確認する。 	<p>【知技①】 ノートの記述内容や発言内容から、「必要な情報を集め、読み取り、浜松市の助けを借りつつ、市と地域住民が連携しながら、災害に対する準備や対策をしていることについて理解しているか」を評価する。</p>

(7) 住民どうしの協力				
<p>・調べる 住民どうしでは、どのような取り組みをしているのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p.90～91</p>	1	<p>①住民どうしが協力してつくっている地域の防災組織について調べ、わかったことや考えたことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域には自主防災隊という自主防災組織がつくられている。 ・自主防災隊はなぜつくられたのだろう。 <p>②自主防災隊について調べてわかったことを整理する。</p> <p>③自主防災隊を機能させるために、日頃から自分たちが地域でできることについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣にどんな人が住んでいるか確かめる。 ・防災倉庫の中身を一緒に確かめておく。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>浜松市には、自主防災隊という災害時に住民どうしが助け合って地域を守る組織がある。市では、この組織と協力して地域を守る活動を行っている。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆自主防災組織という組織について知っていることや調べてわかったことを出し合い、自主防災組織の理解を深める。 ◆自主防災隊の役割について教科書などで調べさせる。 ◆共助の役割について考えさせる。 	<p>【態度①】</p> <p>ノートの記述内容や発言内容から、「家庭・学校・市・市と住民の準備や対策などについての学習を振り返り、まだ解決できていない、住民どうしの取り組みについて解決の見通しを持っているか」を評価する。</p>
(8)地震からくらしを守る取り組みをまとめる				
<p>・まとめる 地震からくらしを守るための、家庭や学校、市や地いき住民の取り組みについて、まとめてみましょう。</p> <p style="text-align: right;">p.92～93</p>	1	<p>①家や学校、市や地域の取り組みについてわかったことや考えたことをカードに書く。</p> <p>②それぞれの取り組みについてカードを整理して比べてみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの立場でも地震が起こる前は準備が大切。 ・自助と共助で何日間か持ちこたえなければならぬ。 ・大きな工事は役所や国に頼まないといけない。 <p>③学習問題について考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちにできることは何だろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆学習問題にもう一度立ち返らせて解決へと導く。 ◆ノートを振り返らせ、各時間のポイントを発表させる。 ◆立場は違っても共通していることを抽出する。 ◆立場の違いによる役割の違いをはっきりさせる。 ◆自助・共助・公助などの役割や共通すること、相違点などを比べながら考えさせる。 	<p>【知技②】</p> <p>発言内容やカードへの記述内容から、「家庭、学校、市全体、市や住民、住民どうしなどは、連携や協力をしながら、地震に対して、対策や準備をそれぞれの役割を果たしながら行っていることについて理解しているか」を評価する。</p>

		<p>地域の関係諸機関や人々は自然災害に対し、さまざまな協力をして対処してきた。また、今後想定される災害に対し、さまざまな備えをしている。</p>		
(9)ひなん所シミュレーション				
<p>・ いかす 地震が起きて、学校がひなん所になった場合、自分はどうするか考えてみましょう。</p> <p style="text-align: right;">p.94～95</p>	1	<p>①地震からくらしを守るために、自分たちにできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分でできること、やるべきことがある。 <p>②「避難所シミュレーション」をみんなでやってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうしてこれを選んだか理由が大切。 ・いろいろな考えがあるから、正解はないけど、避難所ではよく考えて行動しないといけない。 <p>大地震発生後、避難所となる学校では、地域の人々や市役所の担当者や協力して、いろいろなことを想定して決めていかななくてはならない。さらに、自分がやるべきこと、みんなで協力してやること、市役所の力を借りることなど、役割分担して取り組むことが大切である。</p>	<p>◆自分一人のできることを、自分が今日できることをおさえつつ、避難所シミュレーションに移るとよい。</p> <p>◆自分で選択判断することが大切、判断には理由や責任を伴うことを感じさせたい。</p>	<p>【態度②】 発言内容や記述内容から、「学習したことをもとに、大地震が起こり学校の体育館が避難所になった時のために自分たちにできることを考えようとしているか」を評価する。</p> <p>【思判表②】 発言内容や記述内容から、「学習したことをもとに、大地震が起こり学校の体育館が避難所になった時のために自分たちにできることを考えたり、「はい」か「いいえ」を選択・判断したりして、その理由や根拠などについて発表しているか」を評価する。</p>

単元名	4. きょう土の伝統・文化と先人たち (オリエンテーション)		教科書の ページ	p.100～101
配当時数	1 時間	活動時期	10 月	学習指導要 領の内容 (4)アイ

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)古くから残るもの				
<p>・わたしたちの身のまわりにはどのような古いものがあるでしょうか。</p> <p>p.100～101</p>	1	<p>①それぞれが今までに気づいた古いものについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・××には古いお祭りがある。 ・昔から続く芸能がある。 ・京都の古いお寺に行ったことがある、など。 	<p>◆まずは既有的の知識を自由に話し合う。</p> <p>◆自分たちの住む県にも古くから残るものがあることに気づかせる。</p>	<p>【態度】 発言内容やノートの記述内容から、「古くから残るものを想起し、学習の見通しを持っているか」を評価する。</p>
		<p>めあて 県内には、どのような古いものが残されているでしょうか。また、きょう土のはってんにつくした人々は、どのようなことをしたのでしょうか。</p>		

小単元名	1. 残したいもの 伝えたいもの		教科書のページ	p.102～113
配当時数	9 時間	活動時期	10～11 月	学習指導要領の内容 (4)ア-(7)(ウ), イ - (7)

小単元の目標		県内の伝統や文化について、歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取り組みなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめることで、県内の文化財や年中行事の様子をとらえ、人々の願いや努力を考え、表現することを通して、県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受けついできたことや、それらには地域の発展など人々のさまざまな願いが込められていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちができることを考えようとする態度を養う。
小単元の 観点別 評価規準	知識・技能	①歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取り組みなどについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、県内の文化財や年中行事の様子を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、県内の文化財や年中行事には地域の発展など人々のさまざまな願いが込められていることを理解している。
	思考・判断・表現	①歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取り組みなどに着目して、問いを見出し、県内の文化財や年中行事の様子について考え表現している。 ②文化財や年中行事を保存したり受け継いだりしている人々の工夫や努力と地域の人々の願いを関連付けて、人々の願いや努力について考えたり、学習したことをもとに地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちができることなどを考えたり選択・判断したりして、表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①県内の文化財や伝統行事について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちができることなどを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)県内の伝統・文化				
<p>・つかむ 県内にある古くから残るものを出し合って、学習問題をつくりましょう。</p> <p>p.102～103</p>	1	<p>①県内にある古くから残るものについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 古い建物がある。 昔からの芸能がある。 地域の人たちが大切にしている踊りがある。など <p>②学習問題をつくり、学習計画を立てる。</p>	<p>◆県内の文化財や年中行事の様子をとらえる。</p> <p>◆グループごとに調べたいものを話し合い、学習問題をつくる。</p>	<p>【思判表①】 発言内容やノートの記述内容から、「県内にある古くから残るものについての現在にいたるまでの経過に着目して、問いを見出しているか」を評価する。</p> <p>【態度①】 発言内容から、「予想や学習計画を立て、学習問題を解決する見通しを持っているか」を評価する。</p>
		<p>学習問題 県内にある古くから残るものには、どのような願いがこめられ、どのように受けつがれてきたのでしょうか。</p>		

(2)(3)古くから残る県内の建物				
<p>・調べる 古くから残る建物は、どのように守られてきたのでしょうか。</p> <p>p.104～105</p>	2	<p>①具体的な建物を一つ取り上げて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット，図書館の本，博物館，などで調べる。 ・保存会など関係者に電話などでインタビューする。 ・可能であれば実物を見学する。 <p>②調べてわかったことをもとに，考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建造年，建造の目的，改築などの変化。 ・保存会など関係者の取り組みについて。 <p>地域には，古くから残る建物等の文化財があり，働く人々や地域の人々はその保存に取り組んでいる。</p>	<p>◆見学前に見ること，聞くことのポイントを明確にしておくように指導する（グループ活動にすることも考えられる）。</p> <p>◆建物を保存してきた人々の願いや努力に気づかせる。</p>	<p>【知技①】</p> <p>ノートの記述内容や発言内容から，「必要な情報を集め，読み取り，県内の文化財やそれを保存する人々の様子を理解しているか」を評価する。</p>
(4)(5)古くから伝わる県内の芸のう				
<p>・調べる 古くから伝わる芸のうは，どのように受けつがれてきたのでしょうか。</p> <p>p.106～107</p>	2	<p>①具体的な一つの芸能を取り上げて詳しく調べてみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット，図書館の本，博物館，などで調べる。 ・保存会など関係者に電話などでインタビューする。 <p>②写真や資料で確認しながら，わかったことをもとに，考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時代による祭りの変化 ・祭りにおける人々の協力関係 ・地域の人たちの誇りについて，など。 <p>地域には，古くから伝わる郷土芸能があり，歴史的経過により変化しつつ，地域の人々の誇りを支えてきた。</p>	<p>◆聞き取り前にポイントを明確にしておくように指導する（グループ活動にすることも考えられる）。</p> <p>◆芸能が継承されてきた歴史的背景，人々の協力関係に気づかせる。</p>	<p>【知技①】</p> <p>ノートの記述内容や発言内容から，「必要な情報を集め，読み取り，県内の文化財やそれを守り伝える人々の様子を理解しているか」を評価する。</p>
(6) (7)昔から続く県内の祭り				
<p>・調べる 昔から続く祭りには，どのような願いがこめられているのでしょうか。</p>	2	<p>①具体的な祭りを一つ取り上げて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット，図 	<p>◆調べる前にポイントを明確にしておくように指導する（グルー</p>	<p>【知技①】</p> <p>ノートの記述内容や発言内容から，</p>

<p>p.108～109</p>	<p>書館の本，博物館，などで調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保存会など関係者に電話などでインタビューする。 <p>②写真や資料を確認しながら，調べてわかったことをもとに，考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭りが行われる時期，目的，形態，担い手，祭りの変化について，など。 <p>地域には，人々が楽しみにしている祭りなどの年中行事があり，地域の人々の思いや願いを今に伝えるものであり，その保存に取り組んでいる人々の努力がある。</p>	<p>プ活動にすることも考えられる)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆お祭りを継承してきた人々の思いに気づかせることを通して，地域社会に対する誇りや愛情を養う。 	<p>「必要な情報を集め，読み取り，県内の年中行事やそれを守り伝える人々の様子を理解しているか」を評価する。</p>
------------------	---	--	--

(8) 古くから残るものについて年表にまとめる ★他教科との関連：算数

<p>・まとめる 県内にある古くから残るものについて，年表にまとめてみましょう。</p> <p>p.110～111</p>	<p>1</p> <p>①これまでに調べたことを発表して，年表にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・およその年代，重要な変化，その背景などがわかるように作成する。 <p>②つくった年表を見て，それぞれに共通することや違う点など，気づいたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で残されてきたものにはどのようなものがあるか。 ・それらの古いものには，どのような思いや願いが込められているか。 ・それらを保存・継承している人は，どのような工夫や努力をしているか。 <p>県内の文化財や年中行事は，地域の人々が受け継いできたものであり，それらには地域の発展など人々のさまざまな願いが込められている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆「まなび方コーナー」を参照して，年表の作り方をおさえる。 ◆時代的な共通性についても考えさせる。 	<p>[知技②]</p> <p>ノートの記述内容や発言内容から，「調べたことを年表や文などにまとめ，県内の文化財や年中行事に込められた人々の努力や願いについて理解しているか」を評価する。</p>
---	---	--	--

(9) 身近な地いきを見直そう			
<p>・ いかず 地いきに古くから残るものを受けつぐために、自分たちにできることを考えてみましょう。</p> <p>p.112～113</p>	<p>1</p>	<p>①学習してきたことを生かして、地域に伝わる古くからあるものをどのように保存・継承していくか、自分たちにできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な担い手としてできること。 ・地域の一員としてできること。 ・新たな改善・創造の工夫。 <p>②実際に地域の行事を体験したり，課題解決のために情報を発信したりする取り組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸能クラブへの参加。 ・ポスターの作成。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>地域に古くから残る文化財や祭り・芸能には、人々の思いが込められており、地域社会の一員としての自覚を持って保存・継承のために何ができるか考えることが重要である。</p> </div>	<p>◆地域の伝統や文化を保護したり継承したりするために自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして、地域に対する誇りや持続可能な社会を担おうとする態度を養う。</p> <p>【態度②】 発言内容や作品から、「地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちにできることなどを考えようとしているか」を評価する。</p> <p>【思判表②】 発言内容や作品から、「文化財や年中行事を保存したり受け継いだりしている人々の工夫や努力と地域の人々の願いを関連付けて、人々の願いや努力について考えたり，学習したことをもとに地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりして，表現しているか」を評価する。</p>

小単元名	2. 谷に囲まれた台地に水を引く		教科書のページ	p.114～131
配当時数	12 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要領の内容 (4)ア - (イ)ウ, イ - (イ)

小単元の目標		県内の先人の働きについて、当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめ、地域の発展に尽くした先人の具体的事例をとらえ、先人の働きを考え、表現することを通して、地域の発展に尽くした先人は、さまざまな苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①当時の世の中の課題や人々の願いなどについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、地域の発展に尽くした先人は、さまざまな苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。
	思考・判断・表現	①当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、問いを見出し、地域の発展に尽くした先人の具体的事例について考え表現している。 ②先人の働きと地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①県内の先人の働きについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)石でできた橋				
<p>・つかむ 通潤橋とそのまわりの地形から、どのようなことがわかるか、話し合しましょう。</p> <p>p.114～115</p>	1	<p>①通潤橋の写真を見て、気づいたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真ん中からすごい勢いで水がふき出している。 ・橋の下が丸い形になっている。 <p>②なぜ、このような橋をつくったのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空から見ると、谷が深いよ。どこかどこかを結ぶ道をつくりたかったのかな。 ・橋から水がふき出していることと何か関係があるのかな。 <p>熊本県の白糸台地には、布田保之助を中心に石を組んでつくった通潤橋という橋がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆通潤橋の写真を提示する。 ◆地図で、通潤橋の位置を確かめる。 ◆年表で約 160 年前ごろの時代を確認する。 ◆通潤橋のまわりの地形を確かめる。 	<p>【知技①】</p> <p>発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を読み取り、通潤橋の地理的な観点や特徴について理解しているか」を評価する。</p>

(2)人々の願い				
<p>・つかむ 白糸台地に住んでいた人々の願いと地形の持ちようをもとに、学習問題をつくりましょう。</p> <p style="text-align: right;">p.116～117</p>	1	<p>①白糸台地の地形に関する写真を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深い谷に囲まれている。 ・水を確保するために川まで下りるのが大変だ。 <p>②白糸台地でくらす人々の願いについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業用水が十分でない。 ・何とかして水を引きたい。 <p>③学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうやって橋をつくったのだろう。 	<p>◆白糸台地の人々の願いについて、水の確保の難しさと生活への影響を関連付けて調べるようにする。</p> <p>◆学習問題の解決のために調べることを整理し、学習計画を立てる。</p>	<p>【思判表①】 発言内容やノートの記述内容から、「地形ゆえの当時の人々の思いや願いに着目して、問いを見出しているか」を評価する。</p> <p>【態度①】 発言内容やノートの記述内容から、「予想や学習計画を立て、学習問題を解決する見通しを持っているか」を評価する。</p>
		<p>学習問題 布田保之助は、どのようにして通潤橋をつくったのでしょうか。</p>	<p>④学習問題について予想し、学習計画を立案する。</p>	
(3)(4)用水路としての通潤橋				
<p>・調べる 保之助は、どこからどのようにして、白糸台地に水を引こうとしたのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p.118～119</p>	2	<p>①人物年表などから布田保之助について読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの庄屋のまとめ役。 ・51才で通潤橋をつくり始めた。 <p>②イラスト、地図などを活用して用水がどのように送られているか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約6kmも離れた笹原川から水を引いている。 ・白糸台地は台地なので、低い所から水を送る工夫が必要。 	<p>◆通潤橋が用水路（通潤用水全体）のどの位置にあるか、資料③や地図帳などから調べるようにする。</p> <p>◆p.119「まなび方コーナー」を活用して、現地で用水を調べる際のポイントを確認する。</p> <p>◆ことば「用水」を確認する。</p>	<p>【思判表①】 発言内容やノートの記述内容から、「白糸台地へ水を引くことの難しさについて考え表現しているか」を評価する。</p>
		<p>布田保之助は、笹原川から水を取り入れ、白糸台地側に水を送ろうとした。</p>		

(5) (6)水を送るくふう				
<p>・調べる 深い谷に囲まれた台地に、どのように水を送ったのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p.120～121</p>	2	<p>①白糸台地の地図などから地形の様子を読み取り、水を送るのに、どのような問題点があったのか、整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まわりの谷が深くなっているので、まわりの川から水を取りにくい。 ・高い所へ水を送る工夫が必要。 <p>②布田保之助が橋より高い土地にどのようにして水を送ったのか、調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水が落ちる力を利用した。 ・管を木ではなく、石にした。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>布田保之助は、土地の高い白糸台地に水を送るために、水が落ちる力を利用するとともに、石でつくった管で水を送るしくみを取り入れた。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆問題点をどのように解決したかを予想し、調べるようにする。 ◆ことば「等高線」を確認する。 	<p>【知技①】 発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、深い谷に囲まれた白糸台地に水を送るしくみについて理解しているか」を評価する。</p>
(7) 石の管と橋の形のくふう				
<p>・調べる 水が石のすきまからもれないように、どのようなことをしたのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p.122～123</p>	1	<p>① 水が石の隙間から漏れないようにどのようなことをしたのか、調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何度も実験を繰り返した。 ・特別なしっくいではない。 <p>②橋が石の重みや水のいきおいでくずれないように行った工夫を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーチ型の石橋。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>布田保之助は、橋を丈夫なアーチ型の石橋にすると共に、水がもれないように石の管を特別なしっくいにつなぐしくみを取り入れた。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆問題点をどのように解決したかを予想し、調べるようにする。 ◆ことば「しっくい」を確認する。 	<p>【知技①】 発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、石の隙間から水が漏れない工夫について理解しているか」を評価する。</p>
(8) じょうぶな橋にするために				
<p>・調べる 石工たちは、じょうぶな橋にするために、どのようなことをしたのでしょうか。</p>	1	<p>①人物年表などから橋本勘五郎について調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆橋本勘五郎の功績について、じょうぶな橋づく 	<p>【知技①】 発言内容やノートの記述内容から、</p>

<p>ようか。</p> <p>p.124～125</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの橋をつくった。 ・明治政府に招かれた。 ②石工たちが丈夫な橋にするために行った工夫を調べる。 ・熊本城の石垣を参考にした。 ・石橋づくりの手順。 <p>布田保之助と石工たちは、丈夫な橋にするため、つくり方を工夫したり、熊本城の石垣の技術を取り入れたりした。</p>	<p>りの工夫と関連させて調べるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ことば「石工」を確認する。 ◆アーチ型の石橋建設の手順などについては、VTR や模型などを活用して実感的に理解できるようにするとよい。 	<p>「必要な情報を集め、読み取り、丈夫な橋にするための石工たちの工夫について理解しているか」を評価する。</p>
------------------------------	--	--	--	---

(9) 人々のくらしの変化 ★他教科との関連：算数

<ul style="list-style-type: none"> ・調べる 通潤橋ができて、人々のくらしはどのように変わったのでしょうか。 <p>p.126～127</p>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①通潤橋ができて、人々のくらしがどのように変わったのか、調べる。 ・白糸地区の写真や資料³から、土地利用の変化を読み取る。 ・用水路は今も使われている。 ・この地域の人々にとってなくてはならないものである。 <p>通潤橋と用水路の建設によって、白糸台地には水田が広がり、人々の生活は向上した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆用水ができる前と後で、どのような違いがあるか、用水路の完成と田の広がりに関連付け、比較して調べるようにする。 ◆用水路が、水の確保や収穫量の増加だけでなく、人々のくらしの向上につながっていることを考えられるようにする。 	<p>【知技①】</p> <p>発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、通潤橋が完成したことによる人々のくらしの変化について理解しているか」を評価する。</p>
---	----------	--	---	---

(10) 熊本地震と通潤橋

<ul style="list-style-type: none"> ・調べる 山都町や熊本県の人々は、どのようにして通潤橋を残していこうとしているのでしょうか。 <p>p.128～129</p>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①2016年の熊本地震の際、通潤橋はどうなったのか、調べる。 ・2016年の熊本地震で通潤橋にひびわれなどが起こった。 ・大きな影響があった。 ②どのようにして通潤橋を残していこうとしているか、調べる。 ・地元の農業をする若者が中心になって支援を集めようとする動き。 ・清掃活動のボランティア 	<ul style="list-style-type: none"> ◆山都町や熊本県の人々と通潤橋は、どのようなつながりがあるのか、人々のくらしの向上や「通潤地区土地改良区の甲斐さんの話」を関連付けて調べるようにする。 ◆ことば「ボランティア」を確認する。 	<p>【思判表①】</p> <p>発言内容やノートの記述内容から、「通潤橋を後世に残していこうとする山都町や熊本県の人々の思いや願いについて考え表現しているか」を評価する。</p>
---	----------	---	---	--

		<p>・通潤橋は地域の宝。</p> <p>山都町や熊本県の人々は、清掃活動でボランティアをしたり、昔の方法で修理したりすることで、通潤橋を未来に残していこうとしている。</p>		
(11)(12)表彰式をしよう				
<p>・まとめる 布田保之助と石工たちにわたす表彰状をつくり、表彰式を行いましょ う。</p> <p>p.130～131</p>	2	<p>① 調べたことをもとに、表彰状をつくり、表彰式を行う。</p> <p>② ほかのグループの表彰式を見ることを通して、布田保之助や石工たちの功績について改めて考えたことについて話し合う。</p> <p>・ 布田保之助をはじめ、多くの石工や村人の働きがあって、人々の生活がよりよいものになった。</p> <p>さまざまな苦心や工夫を重ねて用水を開発した先人の働きにより、人々の生活の向上への願いが実現し、地域が発展してきた。</p>	<p>◆ p.130 「まなび方コーナー」を活用し、学習したことをもとに表彰状にまとめ、発表する手順を確認する。</p> <p>◆ p.130 「ことば」を参考にし、学習を振り返ることができるようにする。</p>	<p>【知技②】 発言内容や表彰状の記述内容から、「通潤橋の果たした役割やそれをつくった布田保之助や石工たちの功績を理解しているか」を評価する。</p> <p>【思判表②】 発言内容や表彰状の記述内容ややりとりから、「布田保之助と石工たちの功績と通潤橋の果たした役割と後の世までの影響を関連付け、生活の向上を考え表現しているか」を評価する。</p>

単元名	5. 特色ある地いきと人々の暮らし (オリエンテーション)		教科書の ページ	p.140～141
配当時数	1時間	活動時期	1月	学習指導要 領の内容 (5)アイ

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)県内の特色ある地いき				
<p>・わたしたちが住む県には、どのような特色をもった地いきがあるのでしょうか。 p.140～141</p>	1	<p>①県内各地の写真を見て、地域の特色や人々の暮らしについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家に石巻市雄勝町でつくられた伝統的工芸品のすずりがある。 ・仙台市で行われた地球フェスタに参加したことがある。 ・松島町は、宮城県を代表する観光地である。 ・登米市登米町は、「みやぎの明治村」と呼ばれ、多くの古い建物がある。 	<p>◆地域によるくらしの様子の違いに目を向けさせる。</p> <p>◆地場産業がさかんな地域や国際交流に取り組んでいる地域、自然環境や伝統的な文化を保護・活用している地域がそれぞれあることを意識できるようにする。</p>	<p>【態度】 発言内容やノートの記事内容から、「県内にはさまざまな特色ある地域があることに気づき、学習内容の見通しを持っているか」を評価する。</p>
		<p>めあて 県内の特色ある地いきについて調べ、自分たちの地いきと比べてみましょう。</p>		

小単元名	1. すずりをつくるまち・石巻市雄勝町		教科書のページ	p.142～149
配当時数	7時間	活動時期	1月	学習指導要領の内容 (5)ア - (7)(イ), イ - (7)

小単元の目標		県内の特色ある地域の様子について、特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめ、地域の様子をとらえ、それらの特色を考え、表現することを通して、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、特色ある地域の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。
	思考・判断・表現	①特色ある地域の位置、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見出し、県内の特色ある地域の様子について考え表現している。 ②特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして県内の地域の特色を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①県内の特色ある地域の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)600年のれきしがある雄勝すずり				
<p>・つかむ 写真や資料から、気づいたことを話し合い、学習問題をつくりましょう。</p> <p>p.142～143</p>	1	<p>①雄勝すずりのパンフレットや資料などを見ながら、気づいたことについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すずりは、わたしたちも書写の時間に使っている。 ・600年前から手づくりで続いている。 ・震災で大きな被害を受けた後、雄勝すずりは、どうなっているのだろうか。 ・どのようにしてすずりづくりを伝えてきたのだろうか。 <p>②話し合ったことをもとに、学習問題をつくり、予想し、学習計画を立案する。</p>	<p>◆すずりづくりはいつごろから始まったのか、資料③などを活用して調べることができるようにする。</p> <p>◆「雄勝すずりパンフレット」から600年以上の歴史があることをとらえることができるようにする。</p> <p>◆ことば「伝統的な産業」を確認する。</p>	<p>【思判表①】</p> <p>発言内容やノートの記述内容から、「雄勝町の地場産業であるすずりづくりや歴史的な背景に着目して、問いを見出しているか」を評価する。</p> <p>【態度①】</p> <p>発言内容やノートの記述内容から、「予想や学習計画を立て、学習問題を解決する見通しを持っているか」を評価する。</p>
		<p>学習問題 雄勝町では、雄勝すずりをどのように守り、伝えているのでしょうか。</p>		

(2)(3)雄勝すずりをつくる				
<p>・調べる 雄勝すずりは、どのようにつくられているのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p.144～145</p>	2	<p>①雄勝すずりはどのようにつくられているのか、見学したり資料を活用したりして調べ、ノートなどにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原料の雄勝石は、工房の後ろの山でとれる。 ・すずりづくりは、石の用意、ほり、みがきと分業で行っている。 ・一つずつ手作業で、ていねいに仕上っている。 ・すずりは、のみでほってつくる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>雄勝町は、すずりの原料となる雄勝石が手に入りやすく、受け継がれた伝統的な技術を生かした分業によるすずりづくりが行われている。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆工程のわかる映像や画像等を活用して伝統的な技が必要な箇所を目を向けさせる。 ◆可能であれば見学をし、実際にインタビューするとよい。 ◆職人の技だけでなく、すずりを彫ることに対する誇りをとらえることができるようにする。 ◆ことば「原料」を確認する。 	<p>[知技①] 発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、すずりをつくるための分業について理解しているか」を評価する。</p>
★他教科との関連：書写				
(4)(5)すずりづくりを守る				
<p>・調べる 震災の後、すずりづくりを守るために、どのような活動があったのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">p.146～147</p>	2	<p>①東日本大震災の際、雄勝町が受けた被害について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海に面した雄勝町は、津波の大きな被害を受けた。 ・すずりづくりの工房も道具もすべて流され、すずりづくりはできなくなった。 <p>②震災の後、すずりづくりを守るために、どのような活動があったのか、資料を活用して調べ、まとめ、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな人々が、協力して動きだした。 ・2012年にできた新しい東京駅の屋根には、ボランティアが集めた雄勝石が使われた。 ・2014年には、仮設工房が完成し、すずり 	<ul style="list-style-type: none"> ◆人々がすずりづくりを守るために、どのように協力をしたのか、「生産販売協同組合の千葉さんの話」などを活用して調べることができるようにする。 ◆ことば「伝統的なぎじゅつ」を確認する。 	<p>[思判表①] 発言内容やノートの記述内容から、「雄勝すずりを守っていくための活動をしている人の思いや願いについて考え表現しているか」を評価する。</p>

		<p>づくりをする場所ができた。</p> <p>東日本大震災によって地域も雄勝すずりづくりも大きな被害を受けたが、人々が協力、努力して、伝統的な雄勝すずりを守る取り組みが行われている。</p>		
(6) まちの復興の中心に				
<p>・調べる 雄勝すずりを残し、伝えるために、どのような取り組みが行われているのでしょうか。</p> <p>p.148</p>	1	<p>①雄勝すずりを残し、伝えるために、どのような取り組みをしているか資料を活用して調べ、まとめ、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雄勝石を使った作品づくりの体験会を再開した。 ・「マイすずりづくり」を行っている。 ・新しい伝統産業会館を建てた。 <p>雄勝町では、新しい伝統産業会館を建てたり、「マイすずりづくり」を開いたりするなどして、雄勝すずりを残し、伝える取り組みを行っている。</p>	<p>◆雄勝石を使った作品づくりの体験会を再開したり、「マイすずりづくり」を行っていることを通して、雄勝すずりを伝える取り組みをしていることに目を向けさせるようにする。</p>	<p>【知技①】 発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、雄勝すずりという伝統的な産業を伝えていくためのさまざまな取り組みについて理解しているか」を評価する。</p>
(7) 4コマ CM ★他教科との関連：国語				
<p>・まとめる すずりをつくる雄勝町について調べたことをもとに、4コマ CM をつくろう。</p> <p>p.149</p>	1	<p>①すずりをつくる雄勝町について、調べたことをもとに4コマ CM をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雄勝町の特徴 <p>石巻市雄勝町は、伝統的な技術を生かしたすずりづくりがさかんで、人々がその伝統や技術を大切に守り、またそのよさを生かしたまちづくりに取り組んでいる。</p>	<p>◆学習問題を確認し、p.149「ことば」を使って、4コマ CM をつくるようにする。</p> <p>◆p.149「まなび方コーナー」を参考に4コマ CM をつくるようにする。</p>	<p>【知技②】 発言内容や4コマ CM から、「雄勝町の雄勝すずりという伝統的な技術を生かした産業の様子や残し伝えようとしている取り組みを理解しているか」を評価する。</p> <p>【思判表②】 4コマ CM から、「雄勝町の伝統的な産業と地域の発展を関連付け、特色を生かしたまちづくりについて考え表現しているか」を評価する。</p>

小単元名	2. 国際交流に取り組むまち・仙台市		教科書のページ	p.150～157
配当時数	7時間	活動時期	2月	学習指導要領の内容 (5)ア - (7)(イ), イ - (7)

小単元の目標		県内の特色ある地域の様子について、特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめ、地域の様子をとらえ、それらの特色を考え、表現することを通して、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、特色ある地域の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。
	思考・判断・表現	①特色ある地域の位置、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見出し、県内の特色ある地域の様子について考え表現している。 ②特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして県内の地域の特色を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①県内の特色ある地域の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)仙台市に住む外国人の人 ★他教科との関連：算数、国語				
<p>・つかむ 写真や資料から、気づいたことを話し合い、学習問題をつくりましょう。</p> <p style="text-align:right">p.150～151</p>	1	<p>①写真や統計資料などから、気づいたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「せんだい地球フェスタ」には外国の人たちがたくさん参加している。 ・仙台市に住む外国人は増えている。 <p>②学習問題をつくり、予想し、学習計画を立案する。</p> <p>学習問題 仙台市では、外国の人々とどのような交流をし、共にくらすためにどのようなまちづくりをしているのでしょうか。</p>	<p>◆資料[2]や資料[3]を読み取ることを通して、外国の人たちが、なぜ増えているのか、考えさせるようにする。</p>	<p>【思判表①】 発言内容やノートの記述内容から、「仙台市の国際交流に向けた取り組みや人々の協力に着目して、問いを見出しているか」を評価する。</p> <p>【態度①】 発言内容やノートの記述内容から、「予想や学習計画を立て、学習問題を解決する見通しを持っているか」を評価する。</p>
(2)(3)国際交流の取り組み ★他教科との関連：外国語				
<p>・調べる 仙台市は、どのような国際交流をしているのでしょうか。</p> <p style="text-align:right">p.152～153</p>	2	<p>①仙台市はどのような国際交流をしているか、資料を活用して調べ、まとめ、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙台市は国際姉妹都 	<p>◆仙台市がいつごろから外国との交流をはじめたのか、年表などを活用して調べようにする。</p>	<p>【知技①】 発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、仙台市の国際交流の</p>

		市や国際友好都市など、現在九つの都市と交流している。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 仙台市では、国際姉妹都市・友好都市との交流やスポーツイベントなどさまざまな交流活動を行っている。 </div>	◆ことば「国際交流」を確認する。	歴史や特徴について理解しているか」を評価する。
(4)(5)交流から共生へ				
・調べる SenTIA では、どのような取り組みが行われているのでしょうか。 p.154～155	2	①SenTIA では、どのような交流の取り組みが行われているか、資料を活用して調べ、まとめ、話し合う。 ・仙台市では、市とSenTIA が協力して交流活動や共生するための取り組みを行っている。 ・SenTIA は、主に外国人向けにサポートする取り組みをしている。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> SenTIA では、外国人支援だけでなく、留学生交流委員による共生の取り組みを行っている。 </div>	◆市や SenTIA はどのような協力をしているのか、資料などを活用して調べるようにする。 ◆ことば「留学生」を確認する。	【思判表①】 発言内容やノートの記述内容から、「外国人支援だけでなく留学生交流委員による共生の取り組みについて考え表現しているか」を評価する。
(6)共にくらす				
・調べる 市民は、共にくらすために、どのような取り組みをしているのでしょうか。 p.156	1	①市民が共にくらすためにどのような取り組みをしているのか、資料を活用して調べ、まとめ、話し合う。 ・東日本大震災では、外国人住民も避難所にたくさん集まった。 ・外国人も防災訓練を行っている。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 共にくらすまちづくりに向けて、地域住民どうしも交流活動を行っている。 </div>	◆外国人居住者も地域の一員であることに気づかせるようにする。 ◆ことば「共にくらす」を確認する。	【知技①】 発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、市民独自の共にくらすための取り組みについて理解しているか」を評価する。
(7) 4コマ CM				
・まとめる 国際交流に取り組む仙台市について調べたことをもとに、4コマ CM をつくろう。	1	①国際交流に取り組む仙台市について、調べたことをもとに4コマ CM をつくる。	◆学習問題を確認し、p.157「ことば」を使って、4コマ CM	【知技②】 発言内容や4コマ CM から、「仙台市の国際交流という

p.157		<p>・仙台市の特色</p> <p>仙台市は、市・団体・地域が協力して、多文化共生のまちづくりに取り組んでいる。</p>	<p>をつくるようにする。</p> <p>◆ p.149「まなび方コーナー」を参考に4コマCMをつくるようにする。</p>	<p>人々の協力を生かしたまちづくりの様子を理解しているか」を評価する。</p> <p>【思判表②】</p> <p>4コマ CM から、「雄勝町の伝統産業や仙台市の国際交流を関連付け、それぞれの特色を生かしたまちづくりを考え表現しているか」を評価する。</p>
-------	--	--	---	---

小単元名	3. 美しい景観を生かすまち・松島町		教科書のページ	p.158～165
配当時数	7時間	活動時期	2～3月	学習指導要領の内容 (5)ア - (7)(イ), イ - (7)

小単元の目標		県内の特色ある地域の様子について、特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめ、地域の様子をとらえ、それらの特色を考え、表現することを通して、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、特色ある地域の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。
	思考・判断・表現	①特色ある地域の位置、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見出し、県内の特色ある地域の様子について考え表現している。 ②特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして県内の地域の特色を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①県内の特色ある地域の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)美しい景観				
・つかむ 写真や資料から、気づいたことを話し合い、学習問題をつくりましょう。 p.158～159	1	①写真や統計資料などから、気づいたことを話し合う。 ・松島はたくさんの島がある。 ・松島は景色がとても美しい。 ・東日本大震災の後、観光客が減ってしまった。しかし、その後少しずつ増えている。 ②学習問題をつくり、予想し、学習計画を立案する。 学習問題 松島町では、美しい景観を生かしてどのようなまちづくりをしているのでしょうか。	◆松島は、いづろから観光地だったのか、資料③などを活用して調べるようにする。	【思判表①】 発言内容やノートの記述内容から、「松島の自然環境に向けた取り組みや人々の協力に着目して、問いを見出しているか」を評価する。 【態度①】 発言内容やノートの記述内容から、「予想や学習計画を立て、学習問題を解決する見通しを持っているか」を評価する。
(2)(3)自然ゆたかできしある景観を守る				
・調べる 松島町では、どのようにして景観を守っているのでしょうか。 p.160～161	2	①松島町は、どのようにして景観を守っているのか、資料を活用して調べ、まとめ、話し合う。	◆町や地域の人々は、どのような協力をしているのか、資料⑥などを活用して調	【知技①】 発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、松

		<ul style="list-style-type: none"> ・町は、松の手入れをしている。 ・景観を守るためのきまり（景観条例）をつくっている。 ・勉強会を開いている。 <p>松島町では、美しい景観を守るために条例をつくったり、松や湾の手入れをしたりするなどの活動を行っている。</p>	べるようにする。 ◆ことば「日本三景」を確認する。	島の景観を守るための取り組みについて理解しているか」を評価する。
--	--	---	------------------------------	----------------------------------

(4)(5)松島湾の景観とまちづくり

<ul style="list-style-type: none"> ・調べる 景観を生かして、どのようなまちづくりが行われているのでしょうか。 p.162～163 	2	①松島町は、景観を生かして、どのようなまちづくりが行われているのか、資料を活用して調べ、まとめ、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・遊覧船で湾の景色を楽しむことができるようにしている。 ・外国人観光客向けに、数か国語のパンフレットをつくっている。 ・世界の松島湾を目指し、地元に住んでいる外国人から見た松島町のよさを、インターネットを使って海外にも発信している。 <p>松島町では、新しい取り組みや国際交流員による活動などを行い、美しい景観を生かしたまちづくりを進め、外国にも発信している。</p>	◆観光客をふやすためのくふうを、資料 ³ などを活用して調べるようにする。 ◆ことば「自然かんきょうを生かす」を確認する。	【思判表①】 発言内容やノートの記述内容から、「地域の人だけでなく、いろいろな人と協力した取り組みの意味を考え表現しているか」を評価する。
---	---	--	---	---

(6)景観を生かしていく

<ul style="list-style-type: none"> ・調べる これからも景観を生かしていくために、どのようなことが行われているのでしょうか。 p.164 	1	①これからも景観を生かしていくためにどのようなことが行われているのか、資料を活用して調べ、まとめ、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生の「松島子ども英語ガイド」は、外国人観光客に英語で観光案内をする。 ・松島高校には「観光 	◆どのような願いから、観光科がつくられたり英語ガイドが行われたりしているのか、「宇佐美さんの話」などを活用して調べるようにする。	【知技①】 発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、これからも景観を生かしていくための取り組みについて理解しているか」を評価する。
--	---	---	--	--

		科」がある。 松島町では、景観を生かしたまちづくりを進めるため、「松島子ども英語ガイド」や松島高校に観光科を新設するなど、新しい取り組みを行っている。		
(7) 4コマCM				
<p>・まとめる 美しい景観を生かす松島町について調べたことをもとに、4コマCMをつくろう。</p> <p style="text-align: right;">p.165</p>	1	<p>①美しい景観を生かす松島町について、調べたことをもとに4コマCMをつくる。</p> <p>・松島町の特徴</p> <p>松島町は、日本三景の一つでもある美しい景観を守り、松島湾を生かしたまちづくりに取り組んでいる。</p>	<p>◆学習問題を確認し、p.165「ことば」を使って、4コマCMをつくるようにする。</p> <p>◆p.149「まなび方コーナー」を参考に4コマCMをつくるようにする。</p>	<p>【知技②】 発言内容や4コマCMから、「松島の自然環境を守り残していくという人々の協力を生かしたまちづくりの様子を理解しているか」を評価する。</p> <p>【思判表②】 4コマCMから、「雄勝町の伝統産業や仙台市の国際交流、松島町の自然環境を関連付け、それぞれの特色を生かしたまちづくりを考え表現しているか」を評価する。</p>

小単元名	3. 古いまちなみを生かすまち・登米市 登米町			教科書の ページ	p.166～173
配当時数	7 時間	活動時期	2～3 月	学習指導要 領の内容	(5)ア - (7)(イ), イ - (7)

単元の目標		県内の特色ある地域の様子について、特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめ、地域の様子をとらえ、それらの特色を考え、表現することを通して、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	①特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、特色ある地域の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。
	思考・判断・表現	①特色ある地域の位置、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見出し、県内の特色ある地域の様子について考え表現している。 ②特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして県内の地域の特色を考え、適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①県内の特色ある地域の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)「みやぎの明治村」				
・つかむ 写真や資料から、気づいたことを話し合い、学習問題をつくりましょう。 p.166～167	1	①写真や地図などから、気づいたことを話し合う。 ・登米町には、明治時代に建てられた建物がたくさん残っている。 ・登米町は、古いまちなみが残っていて「みやぎの明治村」と呼ばれている。 ②学習問題をつくり、予想し、学習計画を立案する。 学習問題 登米町では、伝統的な文化がいまのまちなみの景観を生かして、どのようなまちづくりをしているのでしょうか。	◆どうして古い建物を大切にしているのか、その理由を考えるようにして、「まちづくり」につなげ、学習問題をつくるようにする。 ◆ことば「景観」を確認する。	【思判表①】 発言内容やノートの記述内容から、「登米市登米町の古いまちなみを残していくための取り組みや人々の協力に着目して、問いを見出しているか」を評価する。 【態度①】 発言内容やノートの記述内容から、「予想や学習計画を立て、学習問題を解決する見通しを持っているか」を評価する。
(2)(3)伝統的な文化がいまのまちなみの景観を守る				
・調べる 登米町では、どのようにして景観を守っているのでしょうか。 p.168～169	2	①登米町では、どのようにして景観を守っているのか、資料を活用して調べ、まとめ、話し合う。	◆残っているものは、どのくらい前のものか、資料⑤を活用して調べるようにす	【知技①】 発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、登

		<ul style="list-style-type: none"> ・明治時代の建物だけでなく、江戸時代の武士の家もたくさん残されている。 ・県や市によって文化財に指定されたものがたくさんある。 ・町は、30年ほど前から古い建物やまちなみの景観の保存に力を入れてきた。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>登米町では、明治から残る重要な文化財やまちなみを大切に保存している。</p> </div>	<p>る。</p> <p>◆ことば「守り伝える」を確認する。</p>	<p>米市登米町の古いまちなみの景観を守るための取り組みについて理解しているか」を評価する。</p>
--	--	---	------------------------------------	--

(4)(5)「みやぎの明治村」の景観とまちづくり

<p>・調べる 景観を生かして、どのようなまちづくりが行われているのでしょうか。 p.170～171</p>	2	<p>①明治村の景観を生かしたまちづくりは、どのように行われてきたのか、資料を活用して調べ、まとめ、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育資料館では昔の給食体験をしている。 ・地域に住む方による、明治村の観光ガイドがいる。 ・江戸時代から伝わる祭りも行われている。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>登米町では、古くからの文化を大切に受けつぎ、協力して、古いまちなみを生かしたまちづくりを行っている。</p> </div>	<p>◆お祭りは、このまちでいつごろから続いているか、資料等を活用して調べるようにする。</p>	<p>【思判表①】 発言内容やノートの記述内容から、「地域の人が協力して古いまちなみを残そうとしている取り組みについて考え表現しているか」を評価する。</p>
--	---	---	--	---

(6)景観を生かしていく

<p>・調べる これからも文化ざいや景観を生かしていくために、どのようなことが行われているのでしょうか。 p.172</p>	1	<p>①これからも文化財や景観を生かしていくために、どのようなことが行われているのか、資料を活用して調べ、まとめ、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生が卒業制作で教育資料館の絵をかいたり、校舎の清掃活動を行ったりしている。 ・PR動画を作成した。 	<p>◆地域の景観を生かすために、これからも大切にしていこうとする気持ちを育てていることに気づくことができるようにする。</p>	<p>【知技①】 発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、これからも古いまちなみの景観を生かし発信していこうとする取り組みについて理解しているか」を評価する。</p>
--	---	--	--	--

		<p>・多言語ガイドペンをつくり，活用している。</p> <p>登米町では，これからも文化財や景観を生かしていくために，まちなみや文化財を大切にすゝる気持ちを育てたり，地域を盛り上げたりする活動を行っている。</p>		
(7) 4コマCM				
<p>・まとめる 古いまちなみを生かす登米町について調べたことをもとに，4コマCMをつくろう。</p> <p style="text-align: right;">p.173</p>	1	<p>①古いまちなみを生かす登米町について，調べたことをもとに4コマCMをつくる。</p> <p>・登米町の特徴</p> <p>登米市登米町では，「みやぎの明治村」とよばれる伝統的な文化財やまちなみを守り，それらを生かしたまちづくりに取り組んでいる。</p>	<p>◆学習問題を確認し，p.173「ことば」を使って，4コマCMをつくるようにする。</p> <p>◆p.149「まなび方コーナー」を参考に4コマCMをつくるようにする。</p>	<p>【知技②】 発言内容や4コマCMから，「登米市登米町の古いまちなみを残していくという人々の協力を生かしたまちづくりの様子を理解しているか」を評価する。</p> <p>【思判表②】 4コマCMから，「雄勝町の伝統産業や仙台市の国際交流，登米市登米町の古いまちなみの景観を関連付け，それぞれの特色を生かしたまちづくりのよさを考え表現しているか」を評価する。</p>

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
(1)特色ある地いきと自分たちのまちのよさを伝えよう				
<p>・いかす 県内の特色ある地いきと自分たちのまちのよさを、県外の人に伝えてみましょう。</p> <p>p.174～175</p>	1	<p>①つくった4コマCMや、写真を整理する。</p> <p>②特色ある地域と比べながら、自分たちのまちについて気づいたことを話し合う。</p> <p>③県外の人にタブレットで写真を見せるなどして、特色ある地域と自分たちのまちのよさを説明する。</p> <p>自分たちの県には、伝統的な産業や国際交流の取り組み、自然景観(古いまちなみ)などを生かしたまちづくりに取り組む特色ある地域がある。</p>	<p>◆自分たちのまちと似ているところや違うところについてこれまでにつくった4コマCMや写真、地図等を活用して調べるようにする。</p>	<p>【思判表】 発言内容やノートの記述内容から、「これまで学習した三つの地域を関連付け、それぞれの特色を生かしたまちづくりと自分が住んでいる地域の特色を発信するなど、自分たちにもできることを考え表現しているか」を評価する。</p> <p>【態度】 発言内容やノートの記述内容から、「学習したことをもとに、自分たちが住んでいる地域の特色を発信するなど自分たちにもできることを考えようとしているか」を評価する。</p>